

# おれんじ通信

知って支える認知症

42

若年性認知症を「  
存じですか④」家  
族の声(後編)

今回は、若年性認知症の方の家族からいただいた声から、あまり知られていない若年性認知症の実情を紹介いたします。

Q 発症により得たものや新たな気づきは？  
▽発症した後も、今までと変わらず本人に

接してくれる子どもの優しい心

▽困ったことがあれば、家族みんなで話しあい、取り組むようになった

▽家族でいっしょに泣いたり、怒ったり、笑ったり感情を共有することの大切さ

Q 若年性認知症の方の家族へ伝えたいことは？  
▽本人の話をよく聞

くことが大切

▽生活リズムをできる限り崩さないサポートが大切

▽若年性認知症の方が自分のことを自分でできる喜びを一番に考え、本人ができる限り自身の力でさまざまなことができるように工夫する支援が大切

▽若年性認知症は診断まで時間がかかる場合が多い。症状が軽い

うちに制度やサービスを知っておき、心構えをするのとしらないのでは介護の仕方や向きあい方が変わるので、早めに相談窓口にご相談することが大切

◇ ◇  
若年性認知症に関する相談は、担当の地域包括支援センターへご相談ください。

なお、おれんじ通信への意見を寄せてください。

■地域包括ケア推進課 06(43009)3013、限06(43009)38814